



R シリーズ/Tio1608-D/Tio1608-D2 ファームウェアアップデートガイド

このガイドでは、R Remote (V5.9 以降)から R シリーズ、Tio1608-D、Tio1608-D2 のファームウェアをアップデートする手順を説明します。

ご注意(必ずお読みください)

- ・ アップデート前にファームウェアのバージョンをご確認ください。ファームウェアのバージョンが V3.11 より前の Rio3224-D、Rio1608-D、Ri8-D、Ro8-D、RMio64-D は R Remote によるアップデートに対応していないため、各デバイス専用のアップデーターで一旦 V3.11 にアップデートする必要があります。各デバイス専用のアップデーターは、下記ウェブサイトからダウンロード可能な V3.11 のファームウェア(圧縮ファイル)に含まれています。
<https://www.yamahaproaudio.com/>
- ・ R Remote を使うには、Dante Controller が必要です。下記 Audinate 社ウェブサイトの Dante Controller ダウンロードページからダウンロードしてご利用ください。
<https://www.audinate.com/products/software/dante-controller/>
- ・ アップデート作業中(データのロード中)に機器の電源を切ったり、ケーブルを抜いたり、このアップデートガイドに記載された手順と異なった操作をされますと、機器が故障する場合がありますのでご注意ください。
- ・ ファームウェアおよびアップデートガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ ファームウェア、ソフトウェアおよびアップデートガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このアップデートガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

アップデート手順

デバイスのファームウェアをアップデートする手順を説明します。

1. R Remote のメニューから Tool→Firmware Update を選択します。

Firmware Updater が起動します。

2. (RMio64-D の場合) NUAGE Workgroup Manager が起動しているときは終了します。

3. [Select]ボタンを押して、アップデートするファームウェア「xxxx_v*_**_rrmt.bin」を選択します。

デバイス情報エリアにアップデート可能なデバイスが表示されます。

NOTE デバイスの IP アドレス、デバイスの Dante モジュールの IP アドレス、コンピューターの IP アドレスの 3 つを同一サブネットに設定してください。固定 IP や DHCP サーバによるアドレス設定をしているネットワークでは、設定を確認してください。

NOTE xxxx はデバイス名を表します。(Tio1608-D2 は Tio1608-D とファイルが共通になります。V2 以前のファームウェアは書き込めません。) *_** はファームウェアバージョンを表します。

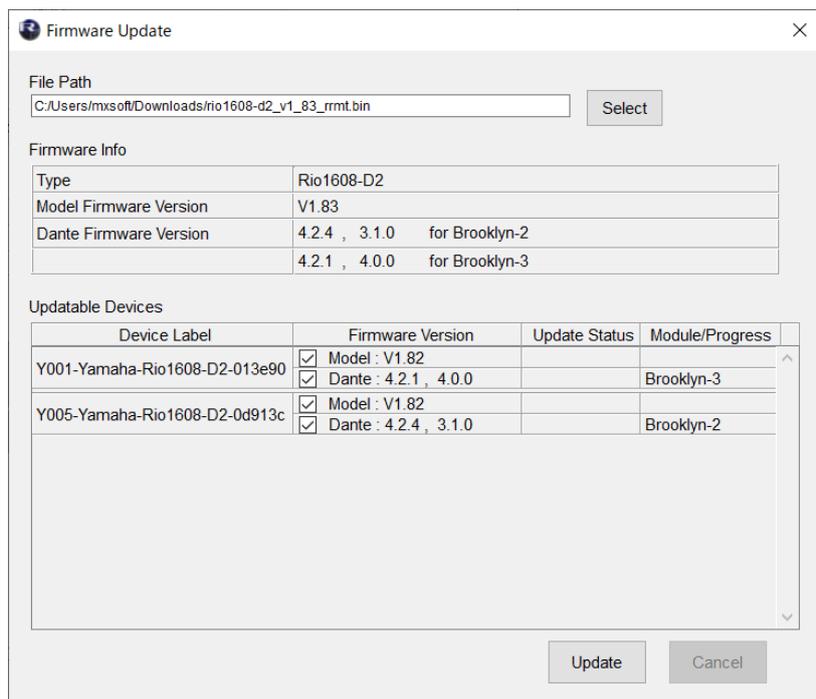
(例 : rio3224-d_v4_10_rrmt.bin)

また、Tio1608-D2 をアップデートする場合は、Tio1608-D Compatibility Mode を解除した状態で実行してください。

NOTE R Remote 非対応の古いファームウェアを選択した場合「Invalid file.」と表示され、アップデートできません。

NOTE 選択したファイルに含まれるファームウェアが、デバイスのファームウェアよりも新しい場合、そのファームウェアのチェックボックスは自動的にチェックされます。選択したファイルに含まれるファームウェアが、デバイスのファームウェアよりも古い場合、そのファームウェアのチェックボックスを手動でチェックする必要があります。

4. [Update]ボタンを押して、アップデートを開始します。



5. アップデートが完了したら、ポップアップ画面が表示されますので、[OK]ボタンを押します。

6. アップデートが完了したデバイスの電源を入れなおします。

その他アップデートの詳細は、下記ウェブサイトにて用意されている「R Remote Version 5.9 ユーザーガイド」をご参照ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>